

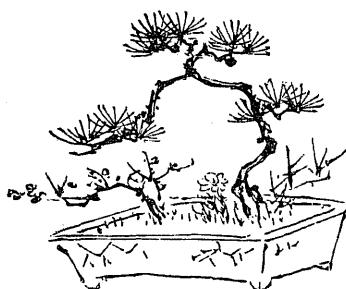
何うふ成りでした？
と問ふ。夫人は涙を拭いて、

「それから、この花園家の娘に成つたのです！」

「ちやア」大きくお成りなすつてから、此方さまから何方へか、おかた付き成すつたのですか」と一座の少女は一齊に問ふた。

「いへえ！ その子は、今、花園家の夫人に成つて、今夜斯うして皆さんと、お話して居ります」「ちやア、奥さまのふくさい時の事ですね！」と、一座の少女は、尙々敬慕の情を以て齊しく膝を前めるのであつた。

(完)



雜

錄

●女子高等師範學校彙報

△修學旅行 四年生は去月初旬三部に分れて文科は神奈川縣に理科は千葉縣に技藝科は埼玉縣に夫れ々々修學旅行を了へたりと云ふ。

△保方實習科 豫て實習中なりし同科生徒の中四名は地方よりの要求に依り舊職業を了へて夫れ々々各地方に赴任せりと云ふ。

●井上通女遺徳表彰會 學和漢を兼ねて詩歌の技に勝れ且婦德盛なりし井上通女は讀岐丸龜の生れなりとの事にて當市の有志者は本年の百二十年忌を幸ひ其遺徳を表彰して女子教育の獎勵に資せんとの計畫あり舊職十八日其委員會を丸龜小學校内に開きしに中學校長女學校判事檢事等二十餘名の來會わり直に規則を議定して役員を選舉したるに會長には長谷川丸龜市長副會長に岡田高等女學校長當選したりと尙同會が來年度に於て行はん

とする事業は如左

一百七十祭典を舉行する事

傳記及遺稿を編輯する事

建碑をなす事

文庫を設置する事

●女學校の教員養成科

聞く所に依れば文部省は

義務教育年限延長に伴へ

経費膨脹を避けん爲め

二部教授を獎勵すると同時に男教員よりも比較的

低い給にて得らるゝ女教員を奨励せる由なるが

其結果現在の府縣女子師範學校卒業生のみにては

需用を充たしがたきを以て從來教育科及教授法

の試験のみを施行して高等女學校卒業生に正教員

免許状を與へ居りし制を改め師範學校又は高等女

學校内に修業年限一位の教員養成科を置きて高

等女學校卒業生を無試験にて入学せしめ盛に小學

女教員を養成せんとの議あり

●女學校卒業者と其學力前項の如く女教員養成

上の一資格とせば現在の如く四ヶ程度のものと

五ヶ年程度のものとあるは卒業生の學力に差別を

生ずる嫌ひあり聞く所に依れば来る高等教育會議に一議案として現はるべしと云ふ。

●家政攻究會

高等の家事を研究し併せて師範學

校女子部高等女學校家事科教員志願者を教授する

目的を以て神田共立女學校内に標題の會は組織せられたる由左に記するは其規則なりと云ふ

△學科 家事(衣食住、經濟、衛生、育兒法、家庭教育、割烹)

作法(心得及實習) 教育(原理、教授法) △期限は本年十二月

より四十一年七月まで△時日は毎週月火木金の四回午後四時より六時まで△會費は一圓△講師は横尾侯、宮川すみ、嶺きく

幹事山本昌則

●巴里的幼兒俱樂部 巴里の一新聞記者は先頭同

地に一の幼兒俱樂部を設立したり。其俱樂部と云

へるは宏大なる建物にて立派なる庭園を有し種々

なる見せものもあり其他珈琲、茶、ミルク、菓子等を賣る所あり又種々なる玩具を備へたる遊嬉室

あり、幼兒は其監督者と共に終日愉快に遊ぶこと

を得可しと云ふ。

●八十才の大學生 小野道風ならぬど瑞西のフル

ーチー・ゲンに於て此程判事の公選に當選したる人

は本年八十才の老人なるが同國の法律に依りて

判事試験に及第するの必要あり仍て同試験を受く

爲め昨年より同地の大學に致し螢雪の苦を積み

數字上から一夫多婦又は一婦多夫が天理に背いたものなるとを論じて居る今其言ふ所を聞けば多妻論は天理に背いたものであるといふとを證する有力な法則がある、其法則とは何かと言へば、即ち世界の各地に於て男女の人口が殆んど同じいことある、故に苟くも世界的性質を有すべき宗教は、必ず其倫理的教條中に一夫多妻を排斥する個様を含まなければならぬ、左の表は此點に於て確かに至大的價値があるものと信する。

とて幾多の統計表を掲げて居るが、其中最も重要なのは左の表である

銀色人種男女人口比較

| 國名 | 男子及男兒 萬 | 婦人及女兒 萬 |
|--------|------------|------------|
| 英國及英領 | 二五九二二三二一 | 二六六九一六七三 |
| 北美合衆國 | 三四三四九〇〇七 | 三三六四一七八一 |
| 歐洲大陸 | 一〇五〇七六四〇 | 一〇八五九三一三八 |
| 墨西哥及南米 | 一七七八一三一四 | 一七四九五九四一 |
| 露西亞 | 六三三三九八八六 | 六三二七五六四七 |
| 合計 | 二四六四七〇一六八 | 二四八六九〇八〇 |

つゝありと云ふ六十の手習も物かは今に始めぬ事ながら西人の精力の盛んなるは嘆す可き限りなり。●競馬賭博と學生馬匹改良を獎勵する一手段として公許されたる例の競馬賭博に對して漸く非難設けんことを唱道しつゝあるが實際やり方に依りては隨分風紀を紊乱すること渺からざるは確かなり、殊に上野及び池上の競馬會の如き賭場に出入するものに何等の制限を加へざれば赤門並に某々私立大學の生徒此處に會して賭博を試み勝負を争ひ居る有様言語同斷と云ふの外なし或は之より更に高等學校中學校等の生徒に迄影想するやも知れねば洵に憂慮すべきことゝもありと慨嘆する教育家もありよし馬匹改良の一手段なりとて賭博を公許せるは社會道德の墮落を助長するものと云ふべく何とか相當なる取締法を設けられだし

▲一夫一婦と天理

近着のコンテムボラリー、レビュ一誌上に、モーリス、グレゴリーといふ人が短い論文を寄書して、

○二に對する女子百で印度及錫蘭島は男子百〇四に對して女子は僅かに百の比を示して居る、氏が論據としたのは則ち是等の統計で、是等男女人口の比例から論すれば、造化が男女の結婚に對して定めた法則は一夫一婦に在つて他の二者でないとは明かである。

●戦後の労銀種勞動者の賃銀は之を戦前反戦時に於ける前後三ヶ年の平均に比すれば一般に昂騰の傾きありて或向ひの調査に依れば

| 職業 | 工員 | 官吏 | 職員 | 駕手 | 馬具 | 瓦版 | 大打 | 根打 | 靴下 | 建練 | 活船 | 綿家 | 左瓦 | 大瓦 | 種類 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 三十九年 | 八五 | 九五 | 九〇 | 九二 | 九〇 | 九五 | 八五 | 九五 | 八〇 | 八五 | 九五 | 九五 | 九五 | 九五 | 九五 |
| 三十八年 | 八五 |
| 三十七年 | 七五 | 八四 |
| 三十六年 | 七一 | 八一 |

仕立職 六〇 五八 五七 六三 |
平人足 四五 四四 四三 |
職瓦薈職等に於て最も著しく船大工又は活版職の如きは戰時に於ても需要衰へざりし爲め戰前より引續き騰貴しつゝあり、而して今後の高低は遽かに知るべからざるも、經濟界にして今日の状況を持續する以上は再び低落を來たすが如きこと勿論之れなかるべしと云ふ。

●冬期と室内的空氣 夏期には室内外に依りて空氣に然したる差異とてなけれど冬期には暖房器或は火鉢等より種々なる瓦斯体の發散せらるゝため空氣は室内外によりて大なる差異を來すことあり即ち燃燒より生ずる炭酸類が密閉せらるたる室内に滯留するが故に通常大氣中に於ける千分の一乃至三、なる混合率を超えて千分の五若しくば六以上となることあり斯るときは直に其室内の人には炭酸中毒を起して或は頭痛或は耳鳴りなどを感じ甚しきは人事不正に陥ることあり。

近頃緒方博士の調査なりと云ふを聞くに南京鼠を

火縫の上に載せ硝子箱にて被ひたる外より窓ふに箱内の空氣が炭酸の量に富むに従ひ鐵は煙礮を起して苦しまざれに駆けまわり遂に四分乃至十四分間にて死する由、是を見ても炭酸の有毒なることを知る可し。

● 高等教育會議 文部省にては豫定通り去月十七日より約一週間高等教育會議を開きたり諮詢項事要す。

中の中の主なるものは左の如し。

一、小學校令中改正の件（中學校に高等學校併置）

一、國語假名遣改訂の件

一、高等女學校生徒年限延長の件

一、教員檢定試験改正の件

其他實業學校（醫學專門學校等）に關する件

● 富豪の公供事業 富豪の貴さは何故に貴いかと問はれたる時其答に窮するは我國のみなりしが近時文明の餘澤は彼等守錢奴輩をも感化して漸次富

豪としての真價を發揮し來り常人の企て及ばざる大公供事業を起すの舉あるは實に快心の事なりと云ふ可し。就中今古河家の三大學總建築費を云ふ可し。就中今古河家の三大學總建築費を附したる如きは三井家の慈惠病院と供に空前の大建築なりと云ふ可し因に記す。安田家は廢兵院の建築を寄附し岩崎家は赤十字病院敷地を寄附したりと云ふ。尙ほ九州に於ける富豪中にも前同様な事業に向つて多大の寄附をなさんとて目下其筋に向つて調査し居ると云ふ。

● 本會常集會 本會第四三回常集會は豫定の通り舊臘九日女子高等師範學校附属幼稚園にて舉行せり出席者五十餘名多くは保姆の職を有する會員諸君なりき中村主幹の開會の辭幹事の報告等ありて後田虎藏氏（のちようちえいぞう）児唱歌に關する演説及び東洋幼稚園長岸邊福雄氏（のちようちえいじょう）の所感演説あり茶菓を供して懇話の後散會せるは午後五時半頃なり。

